

こんにちは 豊前市議会です

昨年11月に開催された議会報告会の様子



【三毛門公民館】



【合河公民館】



【山田公民館】



【中央公民館】

12月定例会(11/30～12/16)主な内容



目次 CONTENTS

議案の概要	2P
平成28年12月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～12P
議会報告会	13P
特別委員会の経過報告	14～15P
トピックス・編集後記	16P

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/http://www.city.buzen.lg.jp



議案の概要

平成28年第5回定例会は、11月30日から12月16日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例5件、予算5件、その他の案件2件の合わせて12議案が提出されました。議案はそれぞれ所管の常任委員会で審査され、11議案については原案どおり可決されましたが、議案第75号「豊前市第3次行財政改革推進プランの策定について」は否決となりました。

なお、9月議会から継続審査となっていました議案については、執行部より撤回の申し出があり、全会一致で撤回を承認しました。

また議会運営委員会より、長期欠席議員への議員報酬の不支給に関する特例条例案など2議案が提出され、原案どおり可決しました。



長期欠席議員に対する議員報酬を不支給に!!

12月議会に、議員が議会を長期欠席したり逮捕されたりした場合に議員報酬を不支給とする条例案が、議会運営委員会より提案され、全会一致で可決しました。

従来、本市議会では、病気などの理由で本会議などを長期欠席した場合や、刑事事件で逮捕・勾留された場合でも、議員報酬は全額支払われます。また、受け取った報酬を議員が自ら返納することは、公職選挙法が禁止する寄附行為とされています。

全国的にもこのことが問題視され、議員報酬に関して何らかの規定が必要との考えから今回、条例制定に至りました。

【条例の内容】

病気などで、連続する2回の定例会とその間の臨時会・委員会・全員協議会等をすべて欠席したときは、2回目の定例会閉会日の翌月から報酬は不支給となります。その後、会議等に参加し始めれば、その月から支給開始となります。ただし公務災害等の欠席は対象外となります。

また、刑事事件で逮捕・勾留された場合は日割り計算で支給停止とし、後に有罪が確定すれば不支給となり、不起訴や無罪となれば停止分を支給します。

政務活動費の支給条例も同時に改定!!

同時に政務活動費に関する規定も改定し、長期欠席や逮捕・勾留などにより報酬が不支給となった場合は、政務活動費も支給しないとする条例案も、全会一致で可決しました。

第3次行革プランを否決!!

12月議会に、平成28年度から平成32年度までの本市の財政健全化を着実に進めるとともに、第5次豊前市総合計画の推進を確かなものとするための「豊前市第3次行財政改革推進プラン」の策定に関する議案が提出されました。

総務委員会に付託され審議が行われましたが、委員より「この議案を認めたら、ここに記載されている事業すべてを了承したことになるのでは」や「平成28年度からのプランであるが、28年度は残りが少なくなっている。29年度からのプランにしてはどうか」などの意見があり、委員会での採決は否決でありました。

そのことを受け、本会議での採決の結果、可否同数となり、議長裁決により否決となりました。

口腔ケアに関する予算案を撤回、再上程!!

9月議会で提案され、継続審査となっていました口腔ケア事業に関する補正予算案(議案第54号)は、9月議会に引き続き文教厚生委員会で審議が行われました。

委員会の冒頭に、議案に関する資料が配布され、その内容について審議いたしました。しかし、予算額と資料の係数に誤りがあり指摘したところ、執行部よりこの議案については一度撤回した上で、計画を大幅に見直し、予算額を減額して追加上程したいとの申し出がありました。

本会議での採決の結果、撤回については全会一致で承認し、追加議案については賛成多数で可決となりました。

平成28年12月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	議員名													賛成	反対	
			内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二			
議案第54号	【9月議会からの継続審査分】 平成28年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	撤回	撤回することに全会一致で承認															
議案第69号	豊前市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第70号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	議長	11	0	
議案第71号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	議長	11	0	
議案第72号	豊前市職員退職手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0	
議案第73号	豊前市在宅介護手当支給条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0	
議案第74号	指定管理者の指定について(豊前市まちなか交流センター)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0	
議案第75号	豊前市第3次行政改革推進プランの策定について	原案否決	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	6	7	
議案第76号	平成28年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	議長	11	0	
議案第77号	平成28年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	議長	11	0	
議案第78号	平成28年度豊前市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0	
議案第79号	平成28年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0	
議案第80号	豊前市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0	
議案第81号	豊前市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0	
議案第82号	平成28年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	10	2	

※議案75号については、採決の結果、可否同数(6-6)となったため、議長裁決により原案否決となりました!!

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成新世会』の一般質問



岡本 清靖



尾澤 満治



内丸 伸一

【質問項目】

(内丸伸一議員)

① 環境関連施設

② 防災

③ 市職員

(尾澤満治議員)

④ 観光行政

⑤ 指定管理者制度のあり方

⑥ 市民会館

(岡本清靖議員)

⑦ 森林環境税

⑧ 学習指導要領

⑨ 青少年育成で人作り

⑩ 伝統芸能を守るための専門学校を

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

防災士を育成し 防災意識の高揚を

内丸議員 昨今、日本の至るところで様々な災害が発生しており、ここ豊前市においても、これから先、どのような災害に見舞われるかわからないような状況である。そのため防災というのは、大変重要になってきている。

そこで豊前市では防災訓練について、どのような取り組みを行っているのか伺いたい。

総務課長 地域の防災訓練については、現在までに市内7校区を実施している。今年度については3月に黒土地区が実施を予定しており、平成30年度までに全行政区を完了する予定である。

内丸議員 災害発生時には避難誘導、救助に当たるとい位置づけで防災士という資格があるが、豊前市には何人の防災士がいるのか伺いたい。

総務課長 現在、豊前市には50名の防災士がおり、各地区に最低2名以上の防災士がいる。

内丸議員 せっかく防災士の資格を取得しても訓練等に携わらなければ知識も意識も下降していくことが懸念される。今後、防災士を集め、講習会やディスカッションを行うなどしてスキルアップを図るべきと思うが、執行部の考えを伺いたい。

総務課長 防災士から提案いただいているので、今年度中に連絡会を開催し、意見交換などを実施

したいと考えている。内丸議員 防災は地道な活動を継続していくことが大切で、その活動を支えるのが行政だと思う。市民の生命・財産を守るために、必要なことは積極的に行ってほしいと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 災害対策については、自助、共助、公助の3段階の防災対応が重要である。その自助、共助で素早く対応できるのが防災士と消防団である。それらの人たちが意欲を持ち、スキルアップすることで、より安全・安心な体制が築けると思う。そのためには研修など、しっかりとしたサポート体制を備えていかなければと認識している。



山田地区防災訓練の様子

市民が待ち望む 市民会館の建設を

尾澤議員 現在、市民会館の建替えについて検討がなされているようだが、進捗状況について伺いたい。

生涯学習課長 昨年、総合文化施設建設市民会議を立ち上げ議論を行った。内容としては、建設候補地を現在地及びマルシヨク周辺が適当であると提言をいただいている。その後、庁内に検討委員会を設置し、議論を行っている状況である。

尾澤議員 私の考えとしては、市民会館を中心とし、頑張ろうという商業者や病院などが入るテナントを造り、その上部に

独居老人が入居できるような複合施設を造ってはどうかと思う。そうすることで、新しいまちづくり、コンパクトシティが出来るのではと思うがいかがか。

副市長 当然、市としても複合的な施設、あるいは地域のことを考えて建設に当たりたいと思っっている。ただ、多額の予算が必要となるので、そのことも含めて検討したいと考えている。

尾澤議員 市民会館建設には多額の費用がかかるのは当然である。国土交通省の都市再生地区戦略

事業という補助事業があるので、その補助事業を使い、施設整備においては民間資本を導入するPFI方式を検討してはいかがかと思うが、執行部の考えをお聞きしたい。

副市長 豊前市は財政状況が厳しいため、いかに予算を少なくしていくかが重要と考える。

尾澤議員 なかなか財政が厳しい中ではあるが、市民が待ち望んでいる施設の建設だと思っるので、執行部は情報収集に努め、より良い施設の建設をお願いしたい。



豊前市市民会館

武道による 青少年育成の取り組みを

岡本議員 学習指導要領が改定され、中学校では平成24年度から保健体育の授業で武道が必修となり、柔道・剣道・相撲から選択するようになった。豊前市では剣道を実施していると思うが、どのような理由から剣道を選択したのか伺いたい。

教育長 中学校で武道が必修となったが、柔道をする場合は柔道用に畳や道場が必要であり、相撲の場合は土俵が必要である。しかし剣道は、基本的には竹刀があれば体育館で出来るため、剣道を選択したような状況だ。

岡本議員 先日、剣道の授業を見学するため中学校に行ってきたが、今は竹刀だけを持つての練習であった。今後、防具などを付けての練習があるのか伺いたい。

学校教育課長 防具につい



合岩中学校での剣道の授業の様子

ては全員分揃っている学校もあれば、数セットしかない学校もある。しかし、竹刀は全員分揃っており、人形などに対しての打ち込みをしているような状況である。

岡本議員 防具を付けたら夏場は暑く、逆に冬は冷たい床での授業で気力や忍耐力を養うには良いと思う。加えて、武道は礼儀作法も重要である。

先生はどのような指導をしているのかお聞きしたい。

学校教育課長 武道の授業時数は年間10時間程度であり、高い技術を習得することは到底できない。ただ、武道は礼節を重んじる競技であり、人格を磨くということも大きな目的である。

岡本議員 やはり武道は礼に始まり礼に終わるものであり、日常生活に非常に関わるものでもある。これは、これからの人づくりにつながることであるため、先生の頑張りをお願いしたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① 地域おこし協力隊
- ② 職員の飲酒(運転防止の取り組み)
- ③ 豊前市PR強化
- ④ 不妊治療助成

(福井昌文議員)

- ⑤ 安心・安全な街づくり
- ⑥ 教育問題
- ⑦ 豊前市の広域事業と行政運営

(鎌田晃二議員)

- ⑧ 市民サービスと職員の意識改革
- ⑨ 子育て応援
- ⑩ 市長の市政運営

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

少子化対策として 不妊治療助成の拡充を

秋成議員 不妊とは、日本産婦人科学会によると子どもを望むカップルが1年以上子どもを授からない状態としている。また、日本生殖医学会では、何らかの治療をしないと、それ以降、自然に妊娠する可能性がほとんどない状態とのことである。そこで、お尋ねしたい。本市の不妊治療助成事業は、いつから始まり、またどのような内容なのかお聞きたい。

健康長寿推進課長 平成24年から開始され、一定の要件に該当する夫婦に対し、1年度あたり10万円を限度に助成を行っている。

秋成議員 事業実施以降の助成申請件数をお尋ねしたい。

健康長寿推進課長 平成24年度4件、25年度7件、26年度8件、27年度8件

28年度途中で4件の申請があった。

秋成議員 不妊治療助成事業の対象となる特定不妊治療は、全額自己負担となるため、子どもが欲しいと望みながらも金銭的負担が大きく、治療を断念せざるを得ない人や、途中でやめる人も少なくない。また、特定不妊治療は、高度な技術・設備が必要であり、福岡県が指定した医療機関で治療を受けた場合にしか助成金を受けることは出来ない。豊前市から一番

近い指定医療機関は北九州市にあり、通院に関しても時間的・金銭的に負担が大きい。そこでお尋ねしたい。少子化対策で始めた本市の不妊治療助成事業であるが、助成金額は極端に少なく、豊築1市3町の中でも最低金額となっている。「男女がともに輝くまちふぜん」を基本理念としている豊前市として、子どもを望む方々の負担を少なくする考えがあるのかお聞きする。

市長 行政として、この少子化問題、本当にお金ばかり、財政的には非常に厳しい中であるが、知恵を絞って議会の皆様の力を借りながら、一緒に取り組んでいきたいと思う。



豊前市男女共同参画行動計画

教育や子育て 支援にもっと力を

業を活用して、全ての小中学校に少なくとも1台は設置したい。

福井議員 近隣自治体に負けないよう、ICT教育に必要な、電子黒板を各教室に1台設置する予定があるか伺いたい。

市長 学校の方の受け皿として、本当に上手に使える体制にあるか、教師の使いこなしが出来るのか、各学校を精査して今後の対応を考えていきたい。

福井議員 夏休みの短縮は、福岡市が実施して九州各地に広がりを見せている。冷房設備が整い、真夏でも勉強しやすくなったことと、新学習指導要領で増えた授業時間の確保が背景にあるようだ。豊前市は夏休みの短縮を考えているのか伺いたい。

教育長 現時点では授業時数は確保されており、夏休みの日数を短縮するということは、今後の課題だろうと考えている。校長会等を含めて、学校現場の意見を聞き、議論をするよう指示した。

福井議員 少人数学級の取り組みについての進捗状況をお聞きしたい。

学校教育課長 来年4月時点では、35人以上のクラスが小学校で4学級、中学校で6学級が見込まれている。市の財政状況も勘案しなければならぬが、せめて高校受験を控えた中学校3年生は、クラス分けが出来ればと思っています。

福井議員 夏休み短縮と少人数学級を進め、児童・生徒と教師が向き合う時間と余裕を生み出すことが大切である。教育や子育て支援にもっと力を入れ、豊前市に生まれ育った子どもが誇りを持てる施策を推進していただきたい。



これから

市民第一の対応を

鎌田議員 道路愛護の草刈り時に事故があった。けがをしても、させても市は十分な対応をしない。

総合政策課長 本市の加入している保険の調査は終了し、県下の他自治体の情報収集もほぼ終了している。今後、他自治体の事例を参考に、外部からも意見を聴取し、予算面を含め最適な方法を考えたい。

鎌田議員 市役所に入って真正面の案内係は、市民が挨拶しても気付かない時があると聞く。入口と案内係の場所が離れ過ぎていてのが原因ではないか。係の人が批判を受

けるのはかわいそうである。改善する予定があるのかお聞きしたい。

財務課長 受付の安全を確保し、改善すべきところはしたいと考えている。
鎌田議員 職員の意識改革ということで、職場目標の設定を提言していたが、進捗状況をお尋ねしたい。

総務課長 平成28年度からは人事評価システムを導入したので、その中で組織目標・課の目標・個人目標を設定し、運用したいと考えている。



市役所の総合案内

鎌田議員 職員提案制度に関して、前回質問時、条例はあるが活用されていないという答弁だったが、それ以降、提案がなされ施策に生かされたのか伺いたい。

総務課長 前回の質問以降、機構改革等において職員提案を事務改善に反映させた。また、生涯現役や地方創生に関しても職員に提言を求め、提案がなされているところだ。

鎌田議員 提案が多く出て、施策に活かされるような環境づくりを是非お願いしたい。これからも市職員は市民第一でお願いしたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問



古川 哲也

【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 危険家屋や無住居住宅の問題
- ② 豊前市財政

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

老朽危険家屋に対する市の考えを問う

古川議員 空き家も長年住む人がいなくなり、ずっとそのまま放置しておくのと腐食が早く危険家屋になる。市内にも空き家が多々あるようだが、その物件に対して、市はどのような対策をとっているのかお聞きしたい。

生活環境課長 空き家でも、使用できる物件は総合政策課で空き家バンクとして活用をしている。

しかし、その他の物件については、そのままの状態になっており、苦情があったものについて所有者などに連絡し、対処している状況である。

古川議員 普通の家の解体費は100〜200万円かかり、市の上限30万円の空き家解体補助では足りず、なかなか崩す人が少ないと聞く。腐食が進んだ危険家屋に関しては、市が強制的に撤去で

きると聞かすが、本当にできるのか伺いたい。

副市長 隣地あるいは周辺に迷惑をかけている物件については、強制的に代執行ができるようになっていく。

古川議員 豊前市で代執行を行なったことがあるのかお聞きしたい。

副市長 豊前市では建物に対する所有権や借地権等の問題で提訴される危険性があるため行政執

行は実施しておらず、担当課から文書などでお願している状況である。

古川議員 八屋の街中にもそのような物件がある。危険家屋に関しては生活環境課だけで対応しているようだが、一課だけでは荷が重く感じている。各課が知恵を出し対処すべきと思うが、市としての考えを伺いたい。

副市長 危険家屋については、通学路などに面していると非常に危険である。生活環境課一課に任せるのではなく、豊前市にはプロジェクトチームもあるので、全庁的にこの問題に取組んで行きたいと考えている。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



爪丸 裕和

【質問項目】

(爪丸裕和議員)

- ① 財政問題
- ② 定住促進
- ③ 豊前市の展望

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

緊急事案への対応を しっかりと

爪丸議員 市内のある小学校のグラウンドのフェンスが以前から傾いており、学校教育課に今年度の当初、相談に行ったが、6月、9月、そして今回の12月議会にも改修に関する補正予算の計上がなされていない。市の財政事情もあるだろうが、この件に関して教育委員会の認識と今後の対応をお聞きたい。

爪丸議員 隣地の人の話を聞いたところ、強風や台風のときなどが心配であり、また大雨時などは運動場から雨水が溢れて隣地に流れ込んでくることである。この壁の構造自体は本当に簡単なものとなっているが、緊急性がないという判断の根拠を伺いたい。

学校教育課長 先ほども申したように、市役所の技術職員と同行し、現地

確認を行なった結果、その職員が判断したものである。

爪丸議員 昨日の一般質問で、行政は危険家屋に関して強制的に代執行ができるというような話をしていたと思う。そのような行政が、このようなことではないのか副市長の考えをお聞きたい。

副市長 学校現場や地域に迷惑がかかる場合は十分な議論が必要である。場合によっては予算を流用し、後に補正予算を組む等の方法も考えられるので、職員には緊急度の認識をしっかりと持ち、対応するよう指導していきたいと思う。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文



郡司掛 八千代

【質問項目】

(黒江哲文議員)

① 豊前市の活性化と課題

(平田精一議員)

② 高齢者・障害者対策

③ 人口対策

④ 農業振興

(郡司掛八千代議員)

⑤ 子ども子育て支援事業

⑥ 防災会議の女性委員の登用

⑦ 放課後児童クラブ実施状況と今後に向けて

(鈴木正博議員)

⑧ 豊前市政運営

⑨ 農業問題

※ ここに掲載している質問

のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載して

いますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてお

きますので、お気軽にご閲覧

ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてお

きますので、お気軽にご閲覧

ください。

市民目線で

正しい予算の使い方

黒江議員 豊前市を活性化するためには事業と予算のバランス、それを取り扱う執行部の意識が重要かと思う。各担当課への予算配分の仕方には基準、根拠があるのか伺いたい。

財務課長 予算編成においては、過去の実績を十分精査しながら、まず限度額を設定し、それを基に各課が積み上げをして要求するようにしている。

黒江議員 私は下から積み上げるのではなく、歳入総額から見て判断し、限られた予算内で各担当課各事業へと配分していくべきではないかと考える。そこで市民対応に要する予算について確認をしたい。市民から、市役所は何かとお願いをすると、予算がないと言う、等の不満の声が届く。先日、公民館の給湯器の予算が厳しく、数ヶ月待ったという話を聞いた。

た。120億円を扱う豊前市が、数十万円の給湯器の予算もないのかと率直に感じた。担当課任せではなく、公共施設の総合的な修繕費として幾ら確保というような予算の組み方をしたほうが良いのではないかと思っている。

副市長 そのような場合はまず内部で流用し対応する、それでも足りない場合は補正予算で計上するという方法でないと、今の財政力では運用できない状況である。

黒江議員 予算配分、計画性に疑問を感じる。市長が言えばポンと出すのかという印象を与えている。私は市民対応のための予算は、当初からしっかり確保するべきであると思う。市長の知識、行動力、前向きな姿勢というところは尊敬をするが、市民目線ではなく、自分目線でやりたいことをしているように感じる。

市長 御意見をしっかりと受け止め、市民のやってほしいことをしっかりと調べて事業に取り組んでいきたい。

黒江議員 市長をはじめ執行部には、市民目線勝負で今後も豊前市のためにしっかりと尽力していただきたい。



高齢者の 交通事故多発!! 対策を

平田議員 豊前市の65歳以上、及び75歳以上の人数と割合を教えてください。
健康長寿推進課長 平成28年12月1日現在の65歳以上的人数は9077人、高齢化率は34・38%である。そのうち75歳以上的人数は4734人、17・93%となっている。
平田議員 全国的に見て割合は高いのか伺いたい。
健康長寿推進課長 高齢化率は県内の市で5番目に高く、全国的に見ても高い状況にある。
平田議員 昨今、高齢者の交通事故が非常に多い。被害者は本当に残念である

が、加害者の高齢者も非常に残念なことだと思つ。そこで、豊前市では免許証の自主返納者がどれくらいいるのか伺いたい。

健康長寿推進課長 豊前警察署に問い合わせをしたところ、年間30人程度いるようだ。

平田議員 私たち中山間地域の高齢者は買い物や病院通いで、どうしても車が必要になり免許証が手放せないという実態がある。そこで免許証の返納者を含めて、後期高齢者は市バスの料金を半額程度にしてはどうかと思うがいかがか。

副市長 高齢者の事故は非常に大変な問題である。



高齢者ドライバー

特に豊前市は、中山間部で車を利用しないと、交通機関がなく買い物弱者ができる等、いろんな心配がある。市バスの件も含め、免許証自主返納を促がすためには、どのような対策が一番良いのか検討中である。

平田議員 バス路線のない地域は、やはりデマンドバスが必要であると思うがどう考えているのか。

副市長 タクシーを利用し実証実験をしているところである。その結果を踏まえて検討したいと考えている。

平田議員 今後どんどん需要が伸びてくると思うので、しっかり前向きに取り組んでいただきたい。

子ども達のために 放課後児童クラブの 支援を

郡司掛議員 来年度は放課後児童クラブの利用数が増加すると聞いているが、指導員の人材確保について伺いたい。主に市内の人の採用と聞いているが、他から20〜30%採用してもよいのではないかとと思う。多様な意見を取り入れることは、子どもにとっても良いことと思うが、市長の考えをお聞きしたい。

市長 良いことは確かであるので、提案を踏まえて頑張っていきたいと思う。



福祉課長 畳等については概ね整備できているが、3つの児童クラブについては整備ができていない。現場の指導員とよく協議をしながら、必要があれば改善していきたい。

事なことである。この提案について、答弁をお願いしたい。
福祉課長 子どもの年齢に合わせてできるお手伝いとして、そのようなサポート支援を行い、子どもが家庭においてお手伝いができ、成長の一助にもなるよう行っていきたい。安全面も現場と十分協議し、できるところから実施していきたいと思う。

郡司掛議員 早急に解決策をお願いしたい。次に冬・春・夏休みの期間中に、米のとき方、炊き方、おむすびの作り方など、食育の大切さを教えてはどうかと思う。児童にとっても保護者にとっても大

持続可能な日本の農業へ

鈴木議員 国は2013年にTPPへの参加を表明した。今のままでは将来的に一番打撃を受けるのは農家である。私は小規模農家の一員として反対を表明するが、市長の考えをお聞きしたい。

市長 TPPについては非常に大きな世論が喚起されている。賛成、反対、それぞれ本当にもっともだという認識を持っている。しかし、今のままTPPに突き進むと、大きな打撃を免れ得ないと思う。また、この地域の農業は、高齢化で担い手が殆どいなくなるだろうという将来予測もある。そういうところをど

のように立て直していくのか。その辺の課題もじっくり取り組んでいかなければと思っているところである。

鈴木議員 豊前市の人口は2040年に2万人を切るという推計があり、さらに高齢化も進む。その中で、田園都市と言われる現在の豊前市の景観がそのまま残っているかということは非常に疑問である。ほ場整備の未整備地区の生産基盤の整備を計画的に推進し、農用地の効率的利用や流動化を促進する必要がある。そこで、大規模な事業をする覚悟で未整備地区に投

資してほしいと思う。将来の農業問題に備えるのが、豊前市のとる道だと考えているが、そのことについて考えを伺いたい。

市長 未整備地区がいま耕作放棄地となり、ある意味では景観を壊してしまっていると思う。これを解消する、そして農業だけではなく、他の土地利用に結び付ける。そういう意味でも限られた豊前市の土地である。しっかりと活かしていく、これを地域の将来課題として、しっかりと取り組んでいかねばと考えているところである。



他議会からの視察研修受入れ報告

豊前市議会では、他議会から視察研修の申込みが多数あります。

豊前市の事例を勉強していただき、それぞれの自治体で活かしてもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。

平成28年度の受入れ状況は以下のとおりです。

視察研修受入れ状況

来庁の他議会	日程	視察研修内容
うきは市議会	H28. 5. 11	乳幼児医療費支給事業について
茨城県取手市議会	H28. 5. 18	空き家対策について(老朽危険家屋除去、空き家バンク等)
富山県黒部市議会	H28. 5. 18	空き家対策について(老朽危険家屋除去、空き家バンク等)
鹿児島県いちき串木野市議会	H28. 8. 2	議員定数削減について
東京都杉並区議会	H28. 8. 4	在宅口腔ケア事業について
青森県議会	H28. 10. 27	うみてらす豊前
鳥取県鳥取市議会	H28. 11. 9	道の駅「豊前おこしかけ」
宮城県議会	H29. 1. 26	地域公共交通の活性化について(市バス事業)
大阪府箕面市議会(予定)	H29. 2. 7	議会改革の取組について
埼玉県狭山市議会(予定)	H29. 2. 8	空き家対策について(老朽危険家屋除去、空き家バンク等)

開かれた議会を目指して

第5回議会報告会を 開催しました!!

日程	場所	参加者	アンケート回収率
11月 7日 (月)	三毛門公民館	94人	44%
11月 8日 (火)	合河公民館	49人	47%
11月 9日 (水)	山田公民館	103人	45%
11月10日 (木)	中央公民館	100人	41%

昨年の11月に議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについての報告や、市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で5回目となる報告会では、議会側から「し尿・ごみ処理等生活インフラ調査特別委員会」での審議内容や政治倫理審査会の開催の申入れなどについて報告し、その後、あらかじめ出していたいた各地域の課題や要望についての意見交換を行いました。

また、参加者にご記入いただいたアンケートには、「有意義な報告会であった」や「回数を増やしてほしい」と言ったご意見があり、私たち議員も大変心強く感じております。

なお、それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見・ご要望については、今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。



百条委員会を視野に、議会運営委員会で検討!! し尿・ごみ処理等生活インフラ調査 特別委員会の議会報告会後の経過報告

11月28日に「第7回特別委員会」を開催

このままでは広域事業が終焉を迎え、生活インフラの整備が進まず、市民負担の増大を招くという危惧のもと、平成28年9月定例会の最終日に議会運営委員会より提案があり、採決の結果、全会一致で可決され本特別委員会は設置されました。

その後、委員会は7回開催され調査結果を踏まえて質問を実施し、市長に答弁を求めました。

主な質疑は以下のとおりです。

問：し尿処理施設の組合から、みやこ町・築上町が脱退を決意した理由は何か。

答：築上町は独自で液肥化をしたいということで申入れがあった。みやこ町は、どうしても液肥をまくことが出来ないということと、運送費を考えるとより近い所の方が良いとの思いから行橋市と一緒にやりたいとの申し出であった。

【調査結果】

市長が液肥化に舵を切ったため、し尿処理施設組合から築上町・みやこ町が脱退を決意し、豊前市が単独になってしまったことが判明した。

問：平成26年9月19日付で豊前広域環境施設組合は、施設の長寿命化計画の変更を国へ提出（平成27年3月31日付けで国より計画変更の承認）しているが、変更理由を伺いたい。

答：吉富町・上毛町の処理施設も老朽化しているため、両町の加入促進が変更理由であった。

問：なぜこの2年数カ月間、吉富町・上毛町に公式に訪問をしなかったのか。

答：平成26年10月8日、11月25日、それ以外では、公式の場というのではなかったと思う。しかし、私は会う度に、この加入促進について、この場所を借りて申し訳ないが、ということで話していると記憶している。

【調査結果】

組合議会・豊前市議会より再三、吉富町・上毛町へ加入促進するよう進言をしたが取り組んでないことが判明した。また、長寿命化計画も正式に取り下げる前にやめることを県に伝えたことも判明した。

議会はなぜここまで追求するのか？

⇒ このままでは莫大な財政負担が生じ、市政運営が行き詰まるのではと議会は懸念している!!（表①・②）

他にも大きな課題が浮き彫りになりました。

- ◎地元・関係団体の了解が得られていない
- ◎長寿命化計画の中止により、し尿処理施設の老朽化が一段と進み、いつ停止するか分からない状況である
- ◎ごみ処理の最終処分場について、関係団体と協議が全く進んでいない
 - ⇒ 市民の生活に影響が生じる
- ◎豊前広域環境施設組合の存続
 - ⇒ 勤務する職員・従業員の雇用の先行きが不安

① 豊前広域環境施設組合分担金の推移 【出典:豊前市】

(単位:千円)

年 度	豊前市	築上町	みやこ町	計
平成 23 年	121,433	50,632	107,774	279,839
平成 24 年	127,400	50,463	111,608	289,471
平成 25 年	125,603	51,147	110,882	287,632
平成 26 年	134,786	53,816	119,966	308,568
平成 27 年	132,380	52,273	118,173	302,826

② 長寿命化計画 (交付金 1 / 2) 【出典:豊前市】

(1市2町の場合)

(単位:千円)

総事業費		当初計画 H25.3.29	変更 1 回目 H25.11.29	変更 2 回目 H27.10.6	負担率
		1,300,000	1,933,000	2,218,000	
国負担分		524,939	780,624	856,185	
組合負担分		775,061	1,152,376	1,361,815	
内訳	豊前市	344,127	511,655	604,646	44.4%
	築上町	144,936	215,494	254,659	18.7%
	みやこ町	285,998	425,227	502,510	36.9%
	計	775,061	1,152,376	1,361,815	

この結果を踏まえて、委員長より以下のような提案がありました。

市長の答弁と、今まで調査してきた内容が違う。何よりも市長の努力した姿が全く見えない。その結果、豊前市に膨大な損害を与え、このままでは市政運営が行き詰まってしまう。

11月の議会報告会では市民より、『予算の使い方に対して、しっかりとしたチェックをし是正を』、『執行部と議会が両輪で市政の発展を』、『お互いが決めたことに取り組み、助け合い、そして緊張感を持つために百条委員会を設置し、市長に責任を持って欲しい。言いつばなし、聞きつばなしでは迷惑である。一歩でも一日でも早く解決してもらいたい』という発言等がありました。

また、市民より百条委員会設置に関する要望書も提出されています。そこで、我々議員も初心に帰り、我が豊前市のため、執行部・議会が責任を持ち、広域事業等の原因究明、豊前市の行政運営の行き詰まりの打開策を模索するためにも、地方自治法に基づき委員会の立ち上げを提案したい。

それを受け委員より、「この特別委員会は、議会運営委員会から付託された委員会なので、もう一度議会運営委員会に戻し、地方自治法に基づき百条委員会を立ち上げるか検討してはどうか」という発言があり、全委員同意のもと、議会運営委員会で検討することとなりました。

委員会で視察研修を実施しました!!

産業建設委員会

平成28年11月17日～18日に、山口県防府市で「官民一体の地域ブランド」及び「まちの駅『うめてらす』」についての視察研修を実施しました。

官民一体の地域ブランドに関しては、防府市商工会議所が平成22年に『幸せます』という山口県の方言を商標登録し、この言葉を使ったグッズやイベントなどを官民一体で行なうことで地域ブランドとして定着させ、地域活性化を進めているとのこと。

また、まちの駅『うめてらす』は、防府天満宮の参道沿いに観光交流施設として平成22年4月にオープンした施設で、市内のイベントや特産品、観光スポットを映像で紹介したり、特産品・おみやげコーナーなどもあり、防府市の魅力を発信する施設となっている。



文教厚生委員会

平成28年11月24日～25日に、岡山県新見市で「ICT教育の推進について」、岡山県立図書館で「日本一に向けた県立図書館の取組について」の研修を実施しました。

新見市では、総務省及び文部科学省の事業を活用して市内の全中学校にiPad 900台と電子黒板46台を整備し、ICT教育を推進しているとのこと。

県立図書館では、新刊図書70%収集やレファレンス体制の充実などで、平成17年度から来館者数及び個人貸出冊数が全国の都道府県立図書館で第1位となっている。



総務委員会

平成28年12月21日～22日に、農林水産省・文部科学省と東京中央卸売市場に関して視察研修を実施しました。

農林水産省と文部科学省では、それぞれの省庁における地方創生の取組について研修を行いました。農林水産省からは「6次産業化ネットワーク」や「強い農業づくり」「鳥獣被害防止対策」について、文部科学省からは「地域と学校の連携・協働による地方創生」や「文化・スポーツと地方創生」などについて説明がありました。

中央卸売市場では、園芸農業振興のための方策や今後の対応、また、新豊洲市場の現状及び今後の方針などについての説明を受け、意見交換を実施しました。



編集後記

豊前市議会では、平成28年第5回定例会が11月30日から12月16日にかけて開催され、14件の議案中、豊前市第3次行財政改革推進プランが否決となりました。

委員会付託された総務委員会におきまして7名の委員で慎重審議を行った結果、「完了している事業が記載されている」や「議案の内容に納得がいかない」「豊前市の今後を考えたときにもう少し精査が必要ではないか」など数多くの意見が出され、採決の結果、全会一致で否決となり、本会議におきましても、賛成6票、反対7票で否決となりました。

しかしこの否決は、市職員をはじめ執行部、そして議員も含め意識を改革し、知恵と力を合わせてより良い豊前市を創るために、もっと頑張っていこうという総務委員会、そして市議会からの意思表示だと私は認識しています。

今後も豊前市のために、是は是、非は非、しっかりとものを言える市議会となるよう頑張ってまいりますので、よろしく願いいたします。

内丸 伸一

次回の定例会は
3月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社